

他者との“かかわり”が個人を成長させる

東京開催：2008年12月11日（木）

「個人の成長には、他者との“かかわり”が欠かせない。」
 昨今では人間関係が希薄化しているとも言われています。このような中、富士ゼロックス総合教育研究所では将来の会社を担う若手・中堅社員層の育成に対する示唆を得るべく、調査研究を実施し、その集大成として「人材開発白書2009」として結実いたしました。

今回「人材開発白書2009」発刊を記念いたしまして、共同研究者でもあり国内の第一線でご活躍されている有識者をお迎えし、シンポジウムを開催いたします。
 このシンポジウムが貴社の人材育成に関するあり方を考えるヒントとなり、貴社の人づくり・組織づくりにお役立ていただければ幸いです。

概要（東京開催）

日 時：2008年12月11日（木） 14:00～17:15 受付開始13:30より
定 員：140名（お申し込みは先着順にて受付ます、なお定員になり次第締め切らせていただきます）
対 象：人材開発/人事教育部門/「人・組織」を管掌されている役員、部課長
参加費：無料
会 場：東京ステーションコンファレンス 6F【602 A～D】
主 催：株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所

プログラム

14:00～14:10	10分	[開会]
<第一部>		
14:10～14:50	40分	[基調講演] 富士ゼロックス株式会社 相談役最高顧問 株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所 取締役会長（非常勤） 小林 陽太郎
14:50～15:00	10分	休憩
<第二部>		
15:00～15:40	40分	[講演1] 調査報告：他者との“かかわり”が個人を成長させる 株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所 研究開発統括部 研究室 室長 坂本 雅明
15:40～15:55	15分	[講演2] 調査報告を受けて：経営組織論の視点から組織学習における意義を考える 小樽商科大学ビジネススクール 教授 松尾 睦氏
15:55～16:10	15分	[講演3] 調査報告を受けて：教育学の視点から人材開発における意義を考える 東京大学大学総合教育研究センター 准教授 中原 淳氏
16:10～16:25	15分	休憩
<第三部>		
16:25～17:10	45分	[パネルディスカッション] 他者との“かかわり”を軸とした人材開発の可能性について
17:10～17:15	5分	[閉会]

お申し込み方法

本イベントのお申し込みは締め切らせていただきました

www.fxli.co.jp

公開セミナー/イベント

イベント情報

他者との“かかわり”が個人を
成長させる

お申し込み

お問い合わせ先

株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所
 FXLIイベント事務局
 電話番号：03-5574-1551

[基調講演]



富士ゼロックス株式会社 相談役最高顧問
株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所
取締役会長（非常勤）
小林 陽太郎

プロフィール

1956年慶應義塾大学経済学部卒業、58年ペンシルベニア大学ウォートンスクール修了、同年富士写真フイルムに入社。

1963年富士ゼロックスに転じ、取締役企画部長(68年)、常務取締役営業本部長(72年)、代表取締役副社長(76年)、代表取締役社長(78年)、代表取締役会長(92年)、取締役会長(2004年)を経て、2006年4月相談役最高顧問に就任、現在に至る。98年6月にキャロウェイ・ゴルフ社 取締役、99年7月に日本電信電話株式会社 取締役、2003年6月にソニー株式会社 取締役に就任。

新日中友好21世紀委員会日本側座長、世界トップレベル研究拠点プログラム委員会委員、社団法人経済同友会終身幹事、三極委員会アジア太平洋委員会委員長、学校法人国際大学理事長、学校法人慶應義塾理事・評議員、財団法人日本民藝館理事長・館長等を兼任。

[講演 1] 調査報告：他者との“かかわり”が個人を成長させる



株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所
研究開発統括部 研究室
室長 坂本 雅明

講演概要

仕事を通じて成長していくためには、“他者”という触媒が欠かせません。現在の若手・中堅社員は、どのような“かかわり”を通じて成長しているのでしょうか。また、良い“かかわり”を育む組織とはどのようなものなのでしょうか。このような問題意識から、30歳前後の若手・中堅社員に焦点をあて、国内一部上場企業もしくはその関連会社37社の協力のもと、2300サンプルの定量調査を実施いたしました。その調査研究結果をご報告いたします。

プロフィール

大手電気メーカー、コンサルティングファームを経て現職。戦略立案や経営管理の教育・コンサルティングに従事するとともに、研修と現場実践を融合した学習モデルの研究を行う。一橋大学大学院商学研究科経営学修士課程修了(MBA)、東京工業大学大学院博士後期課程単位取得。共著に『バランス・スコアカード経営実践マニュアル』など。

[講演 2] 調査報告を受けて：経営組織論の視点から組織学習における意義を考える



小樽商科大学ビジネススクール
教授 松尾 睦氏

講演概要

調査結果を経営組織論の立場から解きほぐし、組織における現場学習や経験学習に与える意義を考えます。

プロフィール

小樽商科大学商学部卒業後、東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了(学術博士)。英国ランカスター大学経営大学院にてPh.D.(Management Learning)を取得。経験を通じた学習やプロフェッショナルの熟達化をテーマに研究を進めている。著書に『内部競争のマネジメント』、『経験からの学習』など。

[講演 3] 調査報告を受けて：教育学の視点から人材開発における意義を考える



東京大学大学総合教育研究センター
准教授 中原 淳氏

講演概要

調査結果を教育学者の立場から解きほぐし、企業内人材育成に与える意義を考えます。

プロフィール

東京大学、大阪大学大学院、マサチューセッツ工科大学客員研究員をへて2005年より東京大学大学総合教育研究センター講師、2006年より現職。大阪大学より博士号授与。教育学専攻。「大人の学びを科学する」をテーマに、教育学の観点から、企業人材育成の研究を進めている。編著に『企業内人材育成入門』（ダイヤモンド社）など。